

進路便り 11月号



「就職内定・志望校合格」など、3年生卒業後の進路が決まりつつあります。もちろん、これからの受験予定者や1月のセンター試験に向けて追い込みにかかっている生徒もいます。希望進路実現に向けて、「どうしてあのとき自分はもっと頑張っておかなかったのだろうか…」などと後悔しないように、毎日の高校生活を大切にしてください。具体的には、

「授業を大切に、基礎的な学力を身につけると同時に評定平均を上げる」

「遅刻、欠席をしない」「日頃から服装、言葉づかいに注意して身につける」

を、心がけましょう。

次年度科目選択（1・2年生）

- 進路実現に必要な教科・科目をしっかりと考えて選択することが大切です。
「進路希望調査」に記入した希望の進路に必要な科目を調べて、保護者の方や担任の先生としっかり相談をしてください。
- 同時に、入試や進学先での学習に支障がなければ、評定平均値のことを考えて科目を選ぶことも大切です。指定校推薦・公募推薦・無利子奨学金の利用を考えている人は、一定の評定が必要になります。また進学先によっては、受験科目以外にも将来の資格取得に必要な教科・科目があります。よく調べて選択しましょう。
- 就職を希望している人は、欠席日数が重要です(皆勤がベスト!)。そのうえで、一般教養(SPI)が必要です。幅広い知識が必要とされるので、学校での学習だけではなく新聞・テレビ・ネット等で時事問題に興味をもつことも大切です。

3年生の受験報告書（進学・就職）より

1、2年生のみなさんの進路実現の参考のために、3年生の受験報告書の内容から一部抜粋してまとめたものを紹介します。

進学

- 学校の志望動機と学部/学科/専門分野の志望理由は別々に考えておくこと。
- 「進学先の学校で何をがんばるか(志望校の研究)、高校生活3年間で何をがんばったか」を答えられるようにしておくこと。
- 模擬面接に真剣に取り組んで準備しておくこと。本番で欠席理由をきかれました。
- オープンキャンパスまたは学校説明会に必ず参加しておくこと。
- 「将来どんな職業につきたいか(将来の夢)」を言えるようにしておくこと。

就職

- 予想外の質問に冷静に考え、落ちついて答えられるよう何回も練習する。
- 志望動機はしっかり聞かれるので、自分の思っていることをしっかり伝える。
- 適性検査・小論文も重視される。筆記試験が難しい。しっかり準備すること。
- 普段から正しく制服を着ることや敬語を使うことに心がけていれば、自然と身につくので不自然さはなくなると思う。
- 面接では履歴書から質問される。求人票・会社案内・ホームページをしっかりと読むことに加えて、履歴書に書いたことには何でも答えられるようにしておくこと。
- ★筆記試験では、5月の実力考査で取り組んだSPIのように、国語・数学分野に関わる総合適性検査を実施する企業が増えています。これは限られた時間内に、多様な問題に集中して取り組む形の検査です。

☆3年生は残された時間を有効に活用し、資格取得や自己実現に努めていきましょう。